

コード	30305
作成年度	24年度

基本事業評価表

基本事業名称	高齢者が安心して暮らせるまちづくり
--------	-------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実
施策名称	お年寄りの元気を支える体制づくり

課コード	110	関係課名	
主管課名	福祉長寿課		

基本事業の目的

高齢者を事故や災害から守るため、高齢者世帯の確実な把握に努めるとともに、地域と連携した相談・安否確認事業の実施により、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに取り組むことを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	独居老人安否確認ネットワークの充実	成果指標名称 2	住宅改造費助成事業
成果指標の積算根拠	福祉電話設置数	成果指標の積算根拠	助成件数
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成24年度
目標達成数値	200台	目標達成数値	20件

年		度		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
成果指標 1	目標 A	単位	台	450	500	200	200	200
	実績 B		台	120	118	118	114	
	達成率 B/A		%	26.7	23.6	59.0	57.0	
成果指標 2	目標 A	単位	件	8	21	20	21	20
	実績 B		件	8	21	21	18	
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	105.0	85.7	

1次評価	現状	現状は、120台前後で推移しており、新規設置も年に数件程度である。平成21年度目標値が500台と過大な目標値であったため、今回平成26年度目標値を200台に修正した。また、住宅改造費助成事業については、年度によって増減があるが、平成21年度以降増加傾向にあるが平成23年度から対象者が非課税世帯となったため減少した。
	課題	特に課題はないが、住宅改造費助成事業においては、改造後の使用状況について訪問調査の必要がある。
	改善	実施調査することによって、改造計画等についても必要最小限で効率的な改造費助成ができる。

2次評価	高齢者の安全・安心な生活を守るため、一人暮らし対策を地域とともに取り組んでいくこととフォロー体制を十分に行うこと。また、地域コミュニティの再生・維持により、見守り体制を充実させるとともに、高齢者及び介護者の負担軽減を図るため住宅改造等の助成は適切に実施すること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成23年度 直接事業費	評価の方向性
1	303050201	在宅あんしんサポート助成事業	福祉長寿課	257千円	(途中) このまま事業を継続
2	303050401	住宅改造費助成事業	福祉長寿課	1,312千円	(途中) このまま事業を継続
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				1,569千円	